

## 株式会社 NTT ドコモと防災・減災に向けた相互の連携を深め取り組みを推進することを目的とした連携協定を締結しました（2017/3/8）

テーマ：防災・減災、ICT の活用、連携  
場所：株式会社 NTT ドコモ 東北支社

2017年3月8日(水曜日)に災害科学国際研究所は、防災・減災に向けた相互の連携を深め取り組みを推進することを目的とした連携協定を、株式会社 NTT ドコモと締結しました。

東北大学災害科学国際研究所 今村文彦 所長と株式会社 NTT ドコモ 取締役常務執行役員 古川浩司 東北復興支援室長が、協定書に調印を交わしました。

締結式はNTT ドコモ 東北復興支援の会2017の中で行われ、締結・調印式に先立ち、「仙台市及びNTT ドコモによるICTを活用したまちづくりに関する連携協定取り組みによる状況報告」と題した講演の中で、NTT ドコモ 執行役員 藤原道朗 東北支社長からモバイル空間統計のさらなる有効活用と防災・減災のまちづくり推進に災害科学国際研究所と連携して取り組んでいく報告がありました。今村所長からは、これまでの株式会社 NTT ドコモとの取り組み事例が紹介され、両者が仙台市と「防災・減災のまちづくりと地域社会の復興と発展を加速することを目的として連携協定を締結していることから、今回の両者の連携協定締結により、地域社会の復興と発展に寄与する取り組みが活性化されると目的と意義が述べられました。

締結式後には、佐々木則夫氏（元なでしこジャパン日本代表監督・大宮アルティージャトータルアドバイザー）による基調講演が行われました。当研究所からは今村文彦 所長の他、丸谷浩明 教授（人間・社会対応研究部門）、佐藤健 教授（情報管理・社会連携部門）、サッパシー・アナワット 准教授（災害リスク部門）、保田真理 助手と平井清己 技術補佐員（いずれも災害リスク部門）が出席しました。



調印式



握手を交わす古川室長と今村所長

文責：保田真理（災害リスク研究部門）